

正尊寺門信徒会報

平成14年12月発行

第20号

正尊寺だより

発行：岐阜県本巣郡本巣町曾井中島1592 正尊寺 TEL 0581-34-2018



十月二十三日、第七回正尊寺真宗講座が開催されました。今回は講師に本願寺勸学かんがくの梯実圓はしじつえん和上わじょうをお迎えし、今までの最高の参加者が集まり晩秋にもかかわらず本堂は熱気を感じられるほどでした。二〇〇名で正尊寺本堂は満堂になります。今回の昼の部ではそれを上回る約二二〇名の参加で縁にならば腰掛けも満席になりました。夜の部は仏教壮年会の会員や若い夫婦の方々の参加も増え一五〇名程の方々が梯和上の浄土真宗の要かなめのご法話を熱心に聴聞しました。

講座が終わり梯和上をホテルまで送る道中に「たくさんのお参りと、皆さんの熱意を感じました。良いご縁を結ばせていただきました。」というお言葉をいただき、住職として感無量の思いがこみ上げてきました。

思いおこせば、昭和六十三年に住職を継職し、平成三年に本堂・境内地整備修復事業を行い、平成十三年には本堂内陣の修復を行うことが出来ました。総代をはじめ各役員方々ともに力を合わせ、門信徒一丸となって整備した伽藍がらん、そこへ真まことの仏弟子ぶつでしたる門徒が埋め尽くすように集う、そんなお寺を目指そうと進んできました。その目的を実現する一つの行事が真宗講座です。それゆえ本堂から溢あふ

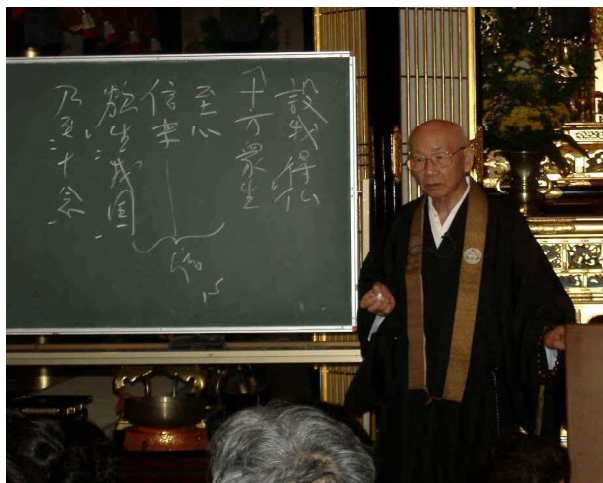
れるほどの門信徒の参加を呼びかけ、一開催の延べ参加者総数四〇〇名以上という具体的目標を掲げているのです。

今回は七回目ということで、出席カードの発行総数は四五〇枚を超えたこともあり、参加者総数は目標に近づいてきました。次年度も同じように年五回の開催を計画しています、是非ご参加下さい。



本堂の中に入りきれず縁で話を聞く人々

パソコンのプレゼンテーションソフトを使い大型スクリーンに絵や解説を写し出しながら、正しいお仏壇のお飾りや仏事での作法をわかりやすくお話ししています。参加者の中には「長いことお給仕していたけれど、



本願寺勸学 梯実圓和上

真宗講座では高名なご講師による法話は言うまでもありませんが、その前で言われる、「仏事作法の解説」も評判を呼んでいます。



大画面に映し説明される仏事作法

そんな意味があったのか」「何も知らずに間違ったことをして」「孫に、どうしてするの? と聞かれてもちゃんと答えられるようになった」

「大きな絵を見ながら説明してもらえるので、とても良くわかる」等々、わずか七回ですが、真宗講座に参加されているご家庭の、お仏壇や法事の準備などが見違えるようになってきています。



回を重ねるごとに増えていく本堂の椅子

近年は膝の故障を抱え正座が出来ず、お参りが辛いといわれる方が増えていきます。そんな方のために腰掛けを用意してありますが、回を重ねるごとに参加者が増え、正尊寺常備の腰掛けでは間に合わず、今回はよそのお寺からも椅子を借り約一五〇名の椅子席を用意しました。膝の痛い方、正座の苦手な方も安心してお参りできるように設定しています。

平成十四年度は一〇回の出席をされ入門課程を修了された方は十九名ありました。入門課程終了された方は認定証(白藤章)と記念品をお渡ししています。



認定証の授与式

どうしても日時時間の都合が合わず真宗講座に来られない方や、もう一度見たいという方のために、講座全体を撮影したビデオテープが録画してあります。いつでもお寺の方にご連絡ください貸し出し致します。

平成十四年度

入門課程修了表彰者

- | | |
|--------|--------|
| 高木 一三 | 本巢町下川原 |
| 林 年子 | 本巢町木知原 |
| 杉山 勝代 | 本巢町向野 |
| 林 多恵子 | 大野町三田畑 |
| 翠 ナツエ | 糸貫町三橋 |
| 小川 重明 | 本巢町寺内 |
| 浅川 松子 | 本巢町東川原 |
| 浅川 静子 | 本巢町東川原 |
| 浅川 操 | 本巢町東川原 |
| 松井 ふみえ | 大野町三田畑 |
| 青山 千枝 | 本巢町東川原 |
| 林 信雄 | 大野町岩野 |
| 林 佐代子 | 池田町池野 |
| 青木 節子 | 本巢町東川原 |
| 青木 一子 | 本巢町東川原 |
| 林 美代子 | 大野町岩野 |
| 大野 進 | 糸貫町三橋 |
| 市川 潤一郎 | 本巢町寺内 |
| 青山 菊男 | 本巢町西川原 |

〈授章順・敬称略〉